

# 「こども園アーティスト派遣事業」

『おひるえ』 豊中市立野田こども園（豊中市野田町1-2）  
2024年度

- ・ 実践内容：『おひるえ』生活の中のアート活動  
保育の日常の中で継続的なアート活動（探求・表現活動）を行う
- ・ 目的：アートの力を活用し、未就学児の非認知能力（頑張る力、協調性、自分で考えて問題を解決する力、発想力などの生きていく力のこと）の形成を促す。
- ・ 対象： 豊中市立栄町野田こども園（豊中市野田町1-2）  
年長クラス
- ・ 期間：（9月～2月）全10回 13：00～14：00
- ・ 使用施設：野田こども園（年長クラス教室・ホール・その他）

## おひる絵のじかん :粉絵具ステップアップ (全8回 各回60分)

- ①こなえのぐけんきゅうパラパラ
- ②絵の具づくり/粉絵の具から絵の具をつくる
- ③えのぐけんきゅうふりふり
- ④1.命名：あたらしいなまえ 2.ふでづくり：ためしふで
- ⑤みたてて えがいて ひろげる
- ⑥おそうじどうぐ+ローラーでかきぞめためしふで
- ⑦イメージの世界 イメージをひろげる 筆の使い方、スポイト
- ⑧イメージの展開 貝殻チョーク・描画・粉で着彩

全8回を通して、領域を緩やかに横断すること、日常生活とつなげることを視野に入れた材料の選択とプログラム展開した。同時に、予算を抑えながらも本格的な体験ができること、保育者が再現できることを重視した。

クラスを2グループに分け、幼児の移動や安全面の配慮、活動の促しを保育士の先生方に行っていた。

# おひるえ 2024

このあきオープン!“えのぐけんきゅうしょ”

あらっしー&おだか&さとう（たみ・ゆき）はかせが  
やってきたよ。

ねんちょうクラスのみんなが“えのぐけんきゅうしょ”  
のけんきゅういんだ。

## 第1回 粉絵の具けんきゅう パラパラ/濡らした紙に粉をふるう

- 子どもたちと芸術士のはじめての出会い
- えのぐ研究所へようこそ
- こなえのぐ研究

### 準備：養生

材料：顔料（赤、朱色、青、黄、黄土色、黄緑、紺色）、アイスクリームスプーン（一つの色につき一つのストローをさしておく）、茶漉し（人数分）、紙（ホールケーキのシート人数分）、小さくカットしたスポンジ、ボールに水を少しはる、雑巾、洗濯バサミ

### ○子どもたちと芸術士のはじめての出会い：5分

メインファシリテーターが研究所の博士、サブファシリテーターが博士の助手として登場した。自己紹介をし、これから絵の具の実験をすること、子どもたちは博士の弟子の研究員になり一緒にいろいろやってみるといふ期待感が出てきたところで、今日のプログラムに入っていく。

### ○えのぐ研究所へようこそ：5分

えのぐについてどのようなものか子どもたちに聞く。えのぐは何でできているか子どもたちに聞く。

「今日は絵の具のもとを持ってきました。はい！これが絵の具のもとです。むかしの人は色のついた土や石やガラスなんかも細かく粉にして絵の具を作っていたらしいよ。

これからこの絵の具のもとを研究して遊ぼう。」

### ○こなえのぐ研究：グループに分かれ、移動時間を含め45分

#### step1.観察（こな絵の具を見る）

こなは細かくて軽いのでそっとさわらないと鼻の中に入ったり、爪の中にはいたり、服の間にはいたりするよ。→そこで、これを使ってみてみよう。アイスクリームスプーンをこな絵の具の中に突き刺し、紙の上のにせた茶こしに一杯入れる。茶こしをふると細かいこな絵の具が紙に落ちる。

#### step2.実験（一人ずつ紙とスポンジをわたし、違う色のこな絵があるテーブルを移動する）

ではこなえのぐが水で変化するかみてみよう。（実験していこう）まずスポンジで紙を濡らす。次に漉し器に粉絵具を入れ、紙の上に振う。ちがう色をかさねたらどうなるかな。水を増やしたらどうなるかな？

まとめ、次回予告：5分

# おひるえ①こなえのぐけんきゅうパラパラ 2024.5.12



- 1 子どもたちと芸術士のはじめての出会い
- 2 “えのぐけんきゅうしょ”へようこそ
- 3 こなえのぐけんきゅう





「きょうは えのぐのもとをもってきました。  
はい！これがえのぐのもとです。」



こなえのぐをちゃこしでぱらぱら…

「さあ！えのぐのもとを  
けんきゅうしてあそぼう。」





「こなえのぐが みずで へんかするか じっけんしていこう」



「マグマー！」



「えのぐおおすぎや！」「多すぎたらどうする？」

ちがういろを かさねたら  
どうなるかな？

みずを ふやしたら  
どうなるかな？



こなえのぐのふしぎをはっけんしたね

## 第2回 絵の具づくり/粉絵の具から絵の具をつくる

### ○えのぐづくり

準備：養生

材料：顔料（赤、朱色、青、黄、黄土色、黄緑、紺色）、レンゲ（一つの色につき一つのレンゲをさしておく）、ボール、（人数の半分）網（人数の半分）、泡立て器（人数の半分）、茶漉し（（人数の半分））、洗濯糊（人数の半数）、バケツに水をはる、雑巾

手順の説明 各テーブルに新聞を敷き道具の準備  
子どもたちは二人組で活動

- ①ボウルにせんたくのり（PVA）を半分入れる。
- ②粉絵の具をれんげですくい、網をとおしてふるいいれる。
- ③じっくり観察しながら、泡だて器でかきまぜる
- ④完全になじんだら、ろうとで、ペットボトルにボウルから移し替える

# おひるえ②えのぐづくり 2024.6.11



「このまえのけんきゅうは  
だいどころでつかうものを  
つかったね、おぼえてるかな？」  
「ちゃこし！」  
「スポンジ！」

「きょうはおせんたくようののりで  
ほんもののえのぐをつくるよ」





「おさえとく」「カレーのいろになってきた」



「あわになってる！」



「つぶつぶ！」



あわだてき・あみ  
レンゲ・ボウルを  
じょうずにつかう  
けんきゅういん！  
さいこうのえのぐ  
ができました♡

### 第3回 絵の具けんきゅうフリフリ

#### ○全身で遊ぶ

準備:40本の500ミリペットボトルのうち、半分は、三分の一までPVAを入れ、教室に持っていく。机に新聞紙を、敷いて雑巾2枚とボールに入った絵の具を2色ずつ置き、PVA4本ほど、空の500ボトル4本とロウト、レンゲを4個置く。濯ぎ用に、机と机の間二箇所壁側に水の入ったバケツを配置。  
講師台に予備の雑巾、新聞紙、2回目の空ボトル20本と色混ぜ用ミニボトル20本を準備  
※色混ぜ用ペットボトルのキャップにアクリル絵の具を仕込んでおく

#### ○全身で遊ぶ：導入5分 グループに分かれ、移動時間を含め50分

step1 研究員の子もたちとこれまでできたことを思い出してもらおう。はじめは絵の具の素の粉絵具の実験をして次に絵の具の素と洗濯糊をまぜて絵の具をつくりました。上手にできてすばらしかったね。きょうも台所にあるもので、実験していきます。

今日はこの前作った絵の具をボトルに入れて濃い色と薄い色に分けていくよ。みんなで体をいっぱい動かしてシェイクするのでまずシェイク！の練習をします。←既にPVAのみ入れたボトルを渡す。←博士がいいというまで蓋は絶対に開けないでねとお約束

立ってシェイクをみんなで練習。ダンスのような遊びになるように。

step2 粉絵の具とPVAで作る。はじめの一本はレンゲから漏斗に10杯次に新しいボトルを渡してPVAを半分まで入れ、絵の具を2杯入れる。一人2本をシェイク。出来たものは並べる。

まとめ、次回予告 5分

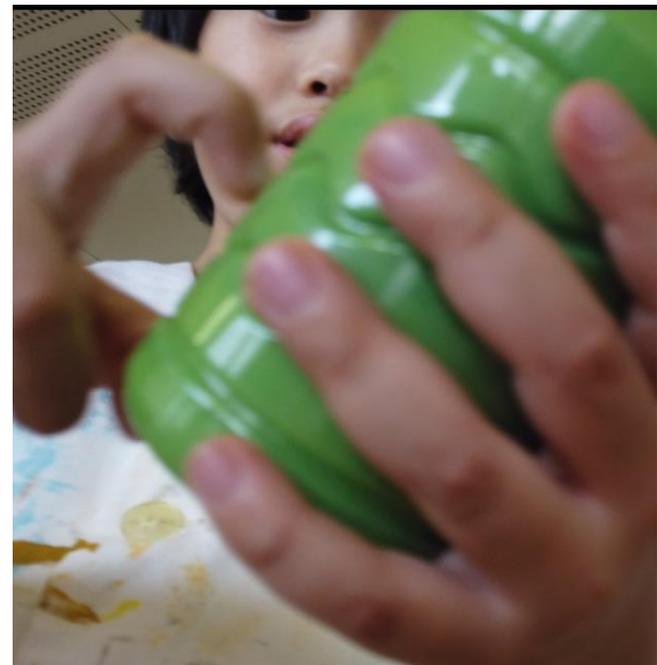
# おひるえ③えのぐけんきゅうフリフリ 2024.7.9



きょうはこのじょうごとペット  
ボトルをつかって  
えのぐをふやすよ。  
まずはシェイクのれんしゅう～

せんたくのりにえのぐをいれると、、、







ほかのいろもまぜてみよう

「かわいい！」  
「さわやかないろ！」



「ほら！きれい！」



「どんないろになるかな」  
「みずちゃん」



たくさんいろができました！

第4回 1.命名：あたらしいなまえ 2..ふでづくり：ためしふで

○命名

○ふでづくり

○新しい名前：10分

教室で前回作った色についてふりかえり、絵具の名前を考える。ラベルシールに自分でかんがえた名前を書き、ボトルに貼り並べていく。 10分

○スポンジ筆づくり

○試し筆

準備：教室 1センチ角のスポンジ（人数×3個）、割り箸（人数×3個）、輪ゴム（人数×3個） ビニルシート 水描き用和紙

○スポンジ筆づくり：15分

筆の試作品を見せて、作って見せる。

みんなで作ろう（教室で全員に一人3こずつ材料を配布）

○水描き：15分ビニルシートに移動して、水を入れたボトルにさした筆に水をつけて描いてみる。

まとめ、次回予告 5分

# おひるえ④

1 命名：あたらしいなまえ

2 ふでづくり：ためしふで

2024.9.10



「このいろのなまえは？」

「まっちゃあいす」

「れいんぼう」...

じぶんたちだけのいろだから  
じぶんだけのなまえをつけるよ





わりばしとスポンジでふでをてづくりしよう



わたあめみたーい



じぶんでできるかな?



できた!



できたふででかいてみよう！



「あおがでてくる」「おもしろい」「あめみたい！」

## 第5回 みたてて えがいて ひろげる

- 見立て
- 描いて拡げる

準備:床養生、壁養生、こな絵の具パラパラでつくったケーキ台紙は教室へ。

材料:製作した絵具 スポンジ筆 梱包ロール

- 見立て：5分

先週のふりかえりと、いちばん最初のこな絵の具パラパラでつくったケーキ台紙に広がる世界を見立てて絵を描いていく。何に見えてくるかみんなで見聞を共有する。

- 描いて拡げる：グループに分かれ、移動時間を含め50分

紙を木工用ボンドで貼る。そこから自作の絵具でどんどんイメージをひろげながら描く範囲も自分の物語とともに拡げていった。

まとめ、次回予告 5分

# おひるえ⑤みたててえがいてひろげる 2024.11.6



“こなえのぐけんきゅう”でつくったケーキのかみ。  
なににみえるかな？

いちまいえらんで おおきなかみにはって、つくったえのぐとふで  
で、...

「どんなせかいが  
できるかな？」





## 第6回 おそうじ道具・ローラーで白塗り

準備：ローラー、たわし、スキージー、ブラシ、色味の濃い絵の具  
壁養生、ロール紙をビニルシートを敷いた床に敷く

○お掃除道具、ローラーで書き初め：導入、移動含め50分  
まとめ、次回予告 10分

次回までに何を描きたいか考えておいてね。大きな紙に大きく書くから何にしようか？子どもたちから出てきた言葉を拾い拡げる。

# おひるえ⑥ おそうじどうぐ + ローラーで白ぬり 2024.11.12



「きょうは、いろいろなおそうじどうぐとローラーで  
白ぬりをするよ。  
つかう材料は、、、」





ブラシ



スポンジ



「それもつかってみたい！」

ローラー



「いろいろないろがでてきた」

スキージー

## 第7回 イメージの世界 イメージを広げる 筆、スポイトを使う

準備:

スポイト・筆・絵具（皆でつくった色）

製作中のロール紙を敷いたビニルシートにひろげる

○2グループに分かれる。移動をふくめ50分

スポイトでドリッピング。スポイトの使い方を説明。

たらしでできた形を観察してみよう

ふでを使ってのばしてみるとどんなかたちになるかな



---

おひるえ⑦  
イメージの世界  
2025.1.14

「いままでみんなで作った  
おおきなかみのうえにオバケのせか  
いをひろげていくよ。」



みんなで作ったいろをすぽいとをつかって・・・



てでしてみよう



いろをまぜてみよう



## B:階段スペース 製作

スポットをつかって



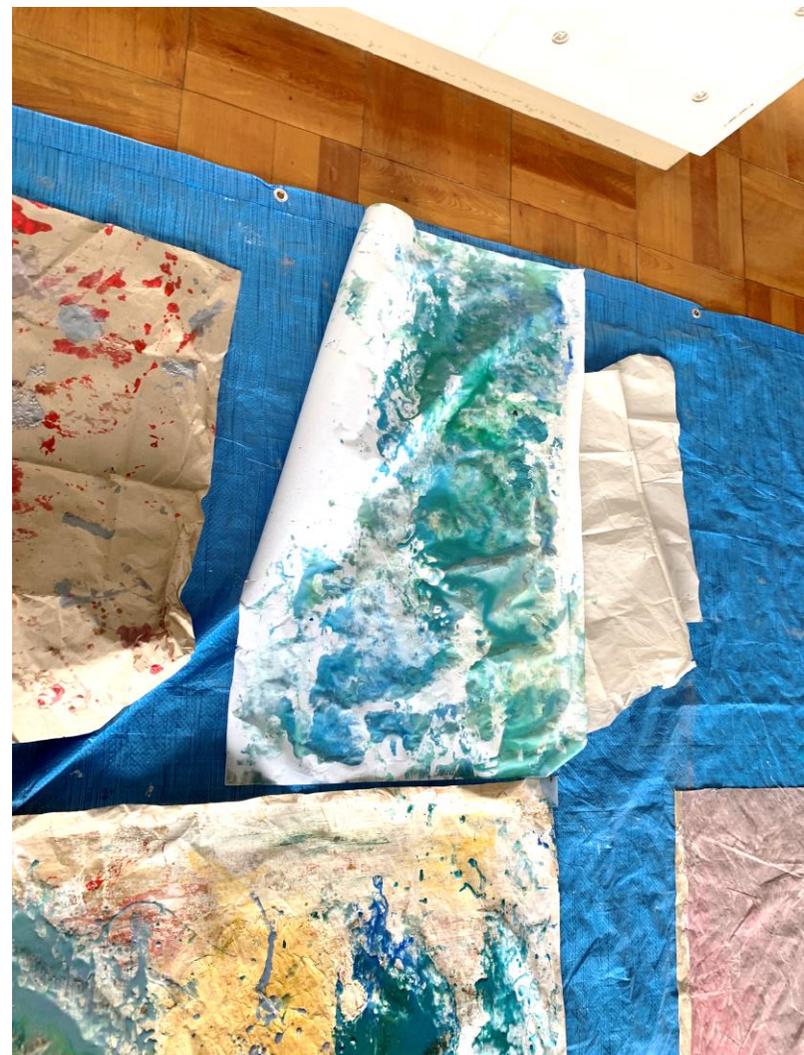
てのばしてみよう！ そらもできるかな？







「今までいろんなものをつかってかいてきた  
ね...  
おぼえているかな？」  
「次回はこれでおぼけのせかいをつくるよ」



第8回イメージの展開 「お化けの世界」 貝殻チョークで描画・着彩

○えのぐを転写した紙でおばけの制作

○制作したおばけを制作中のおおきな紙にはり、おばけの世界のイメージを広げる

準備:

絵の具（皆でつくった絵の具）

スポンジで作った筆 FRP 貝殻チョーク 木炭 網

今までの作品（2点）を床に敷いたビニルシート上にひろげる。

活動：

○A: おばけの制作 転写した紙に木炭でおばけの形を描き、形に沿ってきりぬく

○B: 大きな作品の好きな場所にFRPと木工用ボンドを混ぜた液体で接着し、その上からさらに接着材をぬる

その上から、チョークで描画・網でチョークを削りながら着彩

おひるえ⑧  
イメージの展開  
2025.1.28



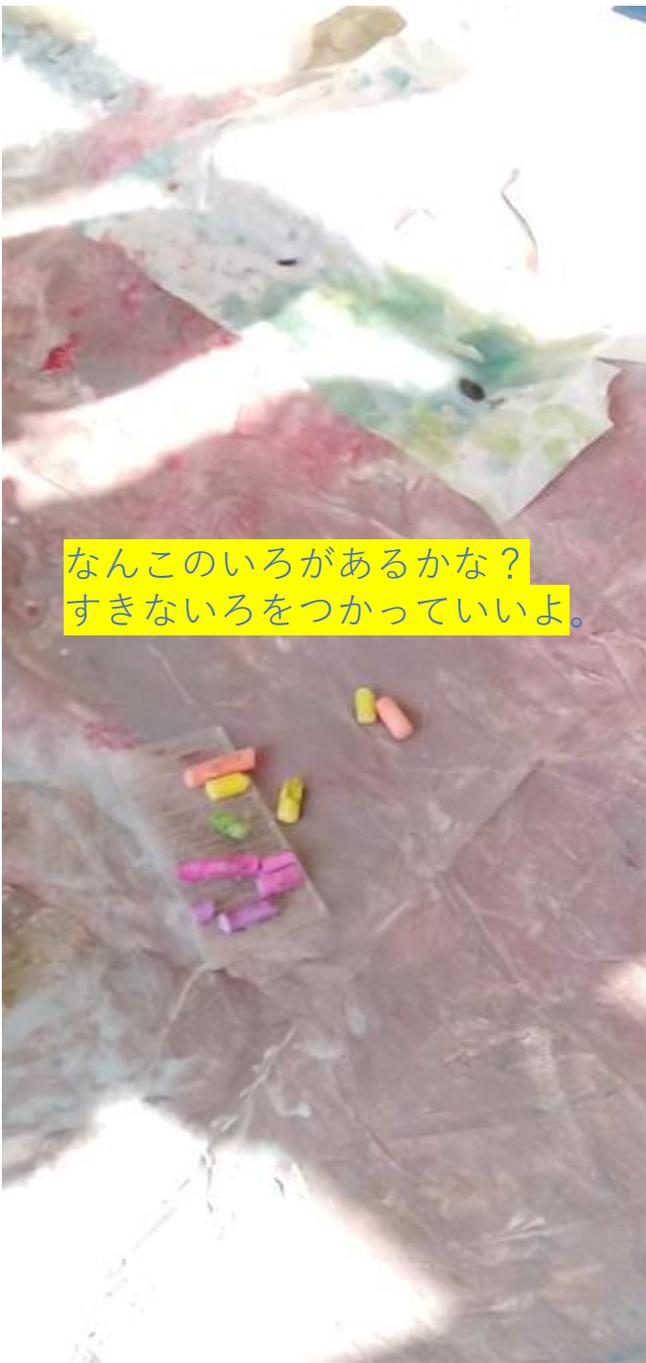
おばけの世界をイメージした  
大きな絵

ここからまだまだイメージを  
ひろげていきます。

今回が最後の活動です  
どんな世界ができるかな？

「わー！ぬるぬる」





なんこのいろがあるかな？  
すきないろをつかっていいよ。



あみでチョークをけずって...



もっとたくさんのいろのこなをかさねてみよう







完成！

「みんなでいっしょにこんなにすてきなおおきなおぼけのせかいをつくることができたね！」

おひるえ  
あーとびじゅつかん  
きりんぐみ

